

「アリジゴク」 の正体

豊田市中央図書館



しらべた理由

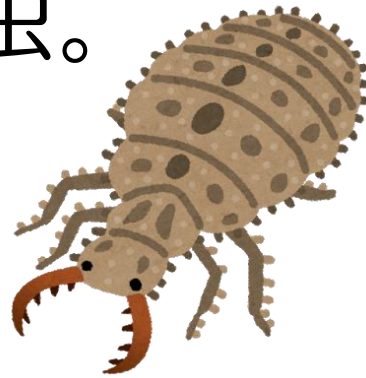
「アリジゴク」という名前がおもしろく、
どんな生き物かしらべてみたいと思ったから。

しらべる方法

- ①本でしらべる
- ②アリジゴクをつかまえて、
かんさつする

アリジゴクとは？

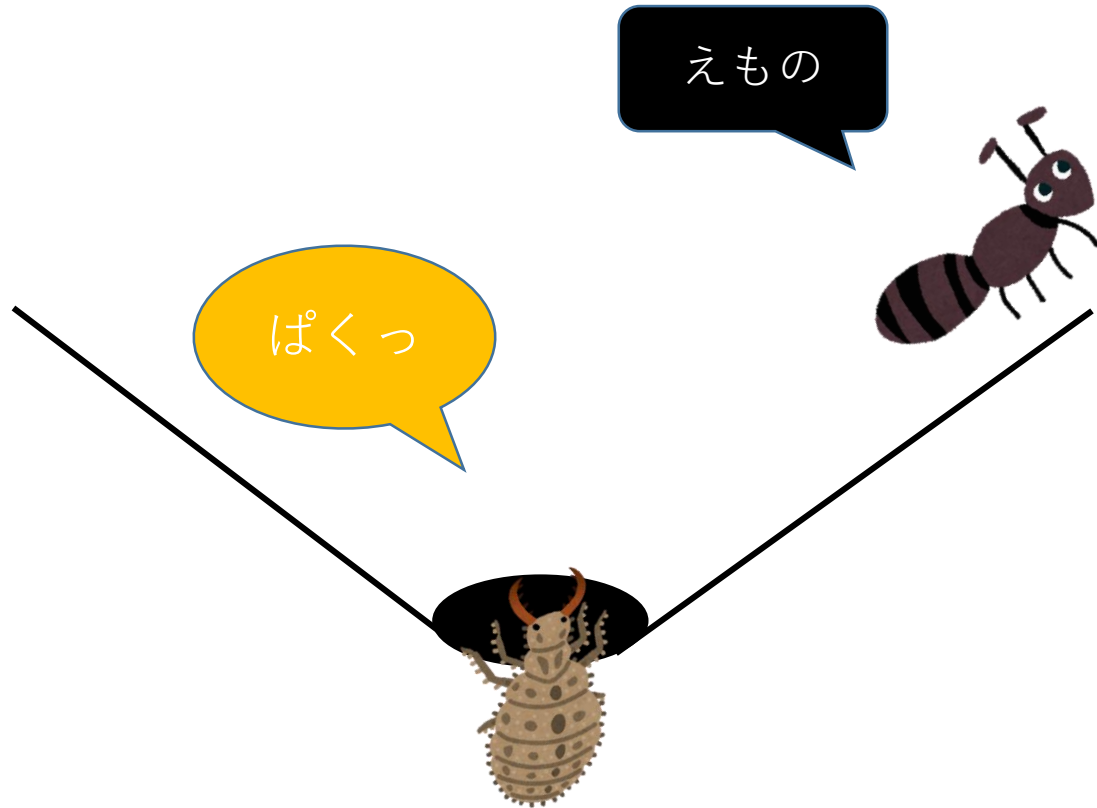
ウスバカゲロウの幼虫。



(2019年図書館にてさつえい→)



巣の特ちょう



アリジゴクは、
巣あなのそこで、アリなど
の虫が落ちるのを待ち、
落ちてきた虫をつかまえる。

つかまえるには

アリジゴクは、
木の下や家のゆかの下など、
かわいたすな地にいる。
何回かさがしたら、
見つけることができた。

(2019年図書館にてさつえい→)



飼ってみた

かんさつしたよ！

糸をたらすと、
えさとかんちがいした
アリジゴクが顔をだす。

(2019年図書館にてさつえい→)



分かったこと・感想

<分かったこと>

アリジゴクは、ウスバカゲロウの幼虫のことだと分かった。

<感想>しらべてみて、「アリジゴク」の名前は、アリが巣に落ちるからなのかなと思った。

さんこうぶん
参考文献けん

ちょしゃめい 著者名	しょめい 書名	しゅっぱんしゃめい 出版社名	しゅっぱんねん 出版年	すう ページ数
	そうごう ひゃっか じてん 『総合百科事典ポプラディア』	しゃ ポプラ社	ねん 2016年	150
監修 岡島秀治	がっけん ずかん こんちゆう 『学研の図鑑LIVE 昆虫』	がっけん 学研プラス	ねん 2016年	156・157